

第2学年英語科前期期末考査の内容

1 範囲

- (1) 教科書 Let's Listen 2 (p.36)～Let's Talk 5 (p.68) ※授業で扱っていない頁は除く
- (2) 問題集 同上の範囲 (pp.48-49, 56-91) ※採点して確認しておくこと
- (3) 副読本 *True Stories in the News* の既読3話 (13, 15, 17話)、*Deep Trouble* 全編
- (4) 基礎英語 6月号6/12 (Lesson 19)～9月号9/22 (Grammar Box 19)
- (5) その他 プリントの試験範囲内で配られたものすべて

2 内容

(1) 放送を聞いて答える問題 (30～35%)

- ・基礎英語の内容理解に関するもの
- ・教科書の基本的表現の理解に関するもの
- ・質問への応答に関するもの
- ・教科書の本文を聞いて正しく書き取るもの
- ・その他

問題形式は前回 (前期期末考査) とおおむね同じようなスタイル (一部を変える予定) で出します。前回は参考に対策をしておきましょう。

(2) 英語を読んで答える問題 (15%) ※既読10点+初見5点

- ・概要理解や要点理解に関するもの (語彙、表現、文法の問題は出さない)

(3) 英語を書いて答える問題 (50～55%)

- ・語いに関するもの (単語、連語)
- ・文法理解に関するもの
- ・表現力に関するもの (場面表現、条件作文等)
- ・その他 (エッセイ作文)

3 対策

(1) 完全に理解するまで復習する

- ・文法は必テキヤプリントを使ってわからないところがなくなるまで何度もやってみる。
→自信が持てるようになるまでやらないと、落ち着いて試験を受けられない。
- ・教科書本文はすべての文の意味がわかっているか確認する。
→意味がわからないまま練習しても力はつかない。

※ *TS* と *DT* は読み込んで内容を頭に入れる。語彙や表現を覚える必要はありません。

(2) 正しく言える、読めるようになるまで練習する

- ・伝えたいことを正しく言えるかどうか確認する。
→中途半端に「言える」と思いこんでいるのが怖いので、正確に言えるか確認する。
- ・教科書本文を暗記してしまうまで読み込んでおく。
→暗記することが目的ではなく、結果として暗記してしまったというくらい読み込む。

(3) 正しく書けるようになるまで練習する

- ・教科書に出てきた単語 (*Word Bank* 含む) はすべてつづりが正確に書けるか確認する。
→つづりミスで点を落とすのが一番もったいない。直前の「単語テスト」を目標に!
- ・教科書本文はすべて正しく書けるか確認する。※基礎英語・*True Stories* の単語や本文は不要。
→言える、読めるようになっていても、書けるようになっていないと点数には結びつかない。

(4) 最低2回は試験範囲をすべて勉強する

- ・一度目は理解を確認するだけで力はありません。ですから、これで「勉強した」つもりになってはだめです。2度目に初めて実力でできるかがわかるのです。

4 備考

- (1) テスト当日に「必修テキスト」を集めます。指定されたページまでしっかりやり、必ず自分で採点しておくこと。ただし、くれぐれもテスト後にあわててやるなどということがないように。また、答えを見ながら問題を解く (答えを写す) のは言語道断です。
- (2) テストでよい点を取ることは英語の力をつける過程での1つの「目標」ではありますが、英語学習の「目的」ではありません。くれぐれもテストのためだけの一夜漬け勉強をすることがないように。そういう勉強スタイルを繰り返している間は本当の力はつきません!